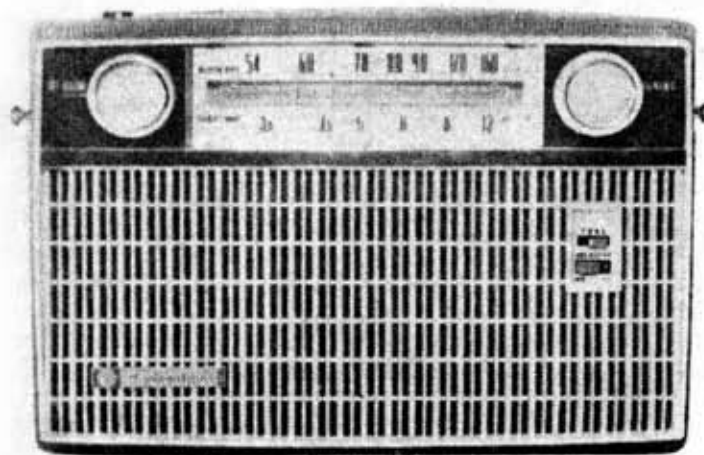


# コロムビア7石 2 Band 1857 形

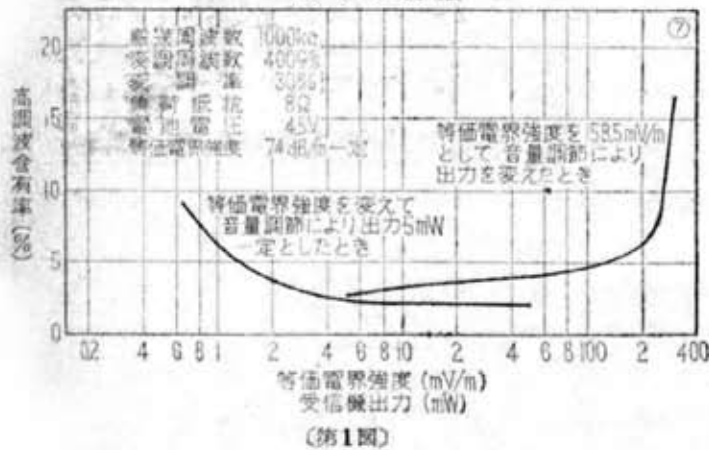


## 回路構成

7石、2バンド、2ダイオードでほかに、日本短波放送（NSB）用クリスタルが1個ついている。

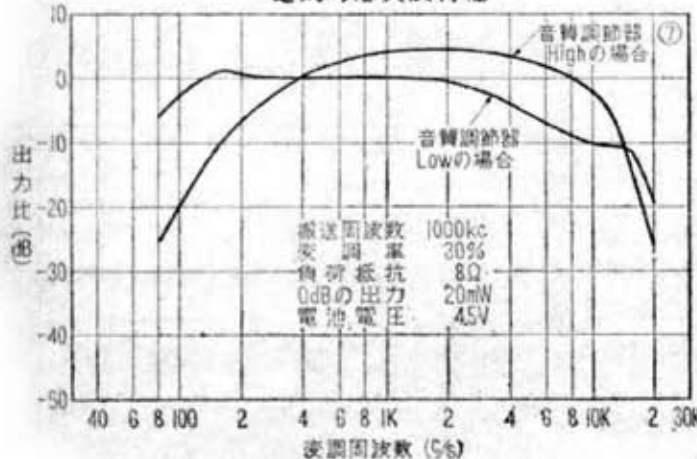
局部発振回路は他励で、そこにクリスタルが挿入されている。ダイオードの1本は遅延AVCに用い、その効果

## ひずみ特性



(第1図)

## 電氣的忠実度特性



(第2図)

をあげている。

スピーカは10センチ円形であり、電源は単一3個4.5V。

## 測定結果

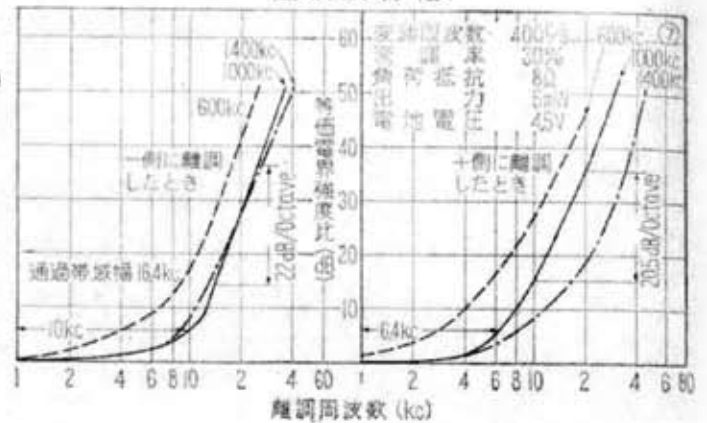
感度特性は、S/N=30dBでは、中波で66dB前後、短波で54dBとなっており、短波は相当よくなっている。

感度差は、このくらいならば、実用上差しつかえないだろう。

出力は、無ひずみで約280mWあり、この種のセットとしては十分である。

妨害は、イメージと中間周波とも、中波ならびに短波で、ふつうもしくは良好

## 選択度特性



(第3図)

な傾向を示している。

選択度特性は左右や不釣り合いである。

ひずみは、中信号（74dB）入力で2.7%（出力5mW）となり、よい値となっている。

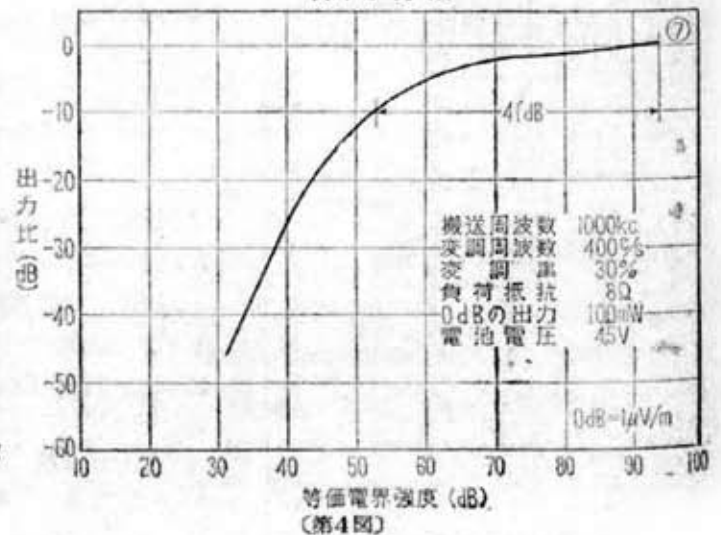
電氣的忠実度は、このタイプとしてはたいへん広い値が出ている。

AVC特性は41dBあつて、十分である。

## その他

外觀はほぼ2トーンカラーを採用しているが、形そのものとしては、比較的変わったタイプをしている。最近の受信機の傾向は、横に長いのが多いが、本機はむしろ正方形に近い形状をしている。そして、スピーカからの音を無理なくキャビネットから出そうと

## AVC特性



(第4図)

